

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年8月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【淡水化装置(RO3)の次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプの起動不良について】 協力企業作業員が淡水化装置(RO3)の保守点検において、薬液注入系統の確認運転を行ったところ、次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプが起動しないことを確認。 淡水化機能については「建屋内淡水化装置」に切り替えて維持できており、当該ポンプは使用していない同型ポンプと入替を行い、起動を確認。 今後、原因調査および修理予定。	GⅢ	8月4日
2	【新事務本館の防火シャッターおよび防火戸の不具合について】 協力企業作業員が新事務本館の消防設備点検中に防火シャッターおよび防火戸の閉鎖不良を確認。 状況を確認し、3月16日に発生した地震による影響と推定。 今後、閉鎖不良箇所を修理予定。	GⅢ	8月4日
3	【5・6号当直員用仮眠室への資材運搬中における負傷者発生について】 当直員が、5・6号機サービス建屋2階にある当直員用仮眠室への資材運搬中に、仮眠室入口にある使用していない局所排風機に接触し、右手甲を負傷。 確認したところ、当該局所排風機の吸い込み口の断面が鋭利になっており、この箇所に接触したと推定。 負傷者は救急医療室において、右手甲の縫合処置を受けた。 なお、予防処置として、局所排風機の養生を実施。 今後、類似箇所を調査し、養生・撤去等実施することにより、再発防止を図る。	GⅢ	8月6日
4	【5号機タービン補機冷却水系熱交換器(A)海水側入口ドレン弁のシート漏えいについて】 当直員が系統復旧のため、5号機タービン補機冷却水系熱交換器(A)海水入口弁の全開操作を行ったところ、熱交換器(A)海水側入口ドレン弁より鉛筆芯1本のシート漏えいがあることを確認。 設備主管Gにて当該弁下流側に閉止板取り付け(8/8に実施済)、シート漏えいの停止を確認。 タービン補機冷却水系熱交換器(A)は、当該ドレン弁下流側に閉止板を取り付けたことによって使用可能となっており、系統運転に問題なし。 今後、タービン補機冷却水系熱交換器点検に合わせて当該ドレン弁を点検予定。	GⅢ	8月5日
5	【タンクエリア地震計設置位置の見直しについて】 2021年2月13日に発生した地震時に、タンクの滑動※が確認され、滑動基数等が特異であったタンクエリアとその他のタンクエリアの地震動の比較などを目的に地震計を設置した。 当該地震計の設置位置を検討した際に内堰の堰内容量に関連することや実施計画変更に関わること、早期設置の必要性の観点などから、タンクが設置されている内堰基礎部ではなく、内堰外側面に設置した。 その後、2022年3月16日に発生した地震時に、当該地震計の観測結果等をとりまとめた際、設置場所について原子力規制委員会より指摘を受けた。 地震計の設置位置については、より適切な位置に設置するための検討に配慮が足りない部分があったことから、再検討し、見直しを行う。 ※滑動:タンクの損傷防止の観点から、強い地震動によりタンクに大きな力が加わった場合に力を逃がすよう、あえてタンクを基礎に固定せずに滑り動くこと。	GⅢ	8月8日